

## 【第5回気象サイエンスカフェ in 名古屋】

日時：2013年8月3日(土)17:00～19:00(受付開始：16:30)

場所：ナディアパーク 7階「7th cafe (セブンスカフェ)」

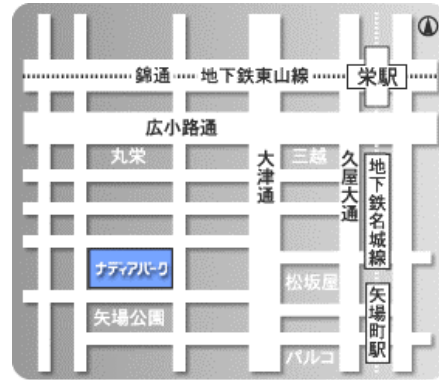
地下鉄「矢場町」下車5・6番出口より西に徒歩5分

ナディアパーク デザインセンタービル Eエレベーター7階

(名古屋市中区栄3-18-1 青少年文化センター052-265-2088)

主催：公益法社団法人 日本気象学会中部支部

一般社団法人 日本気象予報士会東海支部



### テーマ：「猛暑はどこから来るのか？」

スピーカー：立花義裕教授

所属：三重大学・生物資源学部・共生環境学科・地球環境気候学研究室

参加費：600円(ドリンクとケーキの代金)

定員：40名程度(先着順)

申し込み期限：2013年8月1日(木)

※ただしそれ以前に定員に達した場合には申込受付を締め切らせていただきます。

お問い合わせ/お申し込みは、メールにてお願いします。

midori-i@zk9.so-net.ne.jp 担当幹事 岩田

※件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名および所属(気象予報士会会員、気象学会会員、大学生、自治体等)を記入。(複数名の場合は、参加人数と代表者のものを記入してください。)

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。「気象サイエンスカフェin名古屋」は昨年8月に開催後今回が5回目となります。

今回、スピーカーに迎える：三重大学地球環境気候学研究室・立花先生には、猛暑と冷夏の原因についてご自身の最新の研究成果を交えた最先端の研究成果に基づき、遠い北極や熱帯の影響が日本の夏の天候に及ぼしていることについて分かり易く説明していただきます。

### 立花先生のご紹介

エルニーニョ等の熱帯や中緯度・高緯度の海洋や海氷と大気に関連の研究が多く、鈴鹿おろしなどの小スケールの気象から地球規模の大気循環とその長期的変動の研究も行っています。日本を含むアジア地域の気象はもとより、北極や南極の海氷と気象、アフリカの干ばつなど、地球規模での気象・気候研究を行っています。また、三重大学の練習船勢水丸を用いた海洋上の高層気象観測も行っており、暖かい黒潮が日本周辺の気象に及ぼす影響についてもラジオゾンデ観測などにより、研究室の大勢の学生・大学院生と共に行っております。